

氏名	荒 川 謙 三		
学 位 の 種 類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第 1716 号		
学位授与の日付	昭和61年12月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第 5 条第 2 項該当）		
学 位 論 文 題 目	実験的黄色腫組織におけるコレステロールのエステル化機序		
論 文 審 査 委 員	教授 産賀敏彦	教授 栗井通泰	教授 赤木忠厚

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

高コレステロール血症家兔に高分子デキストラン硫酸を局注することにより作成した実験的黄色腫を利用し、黄色腫組織内のコレステロールのエステル化機序を検討した結果、黄色腫組織ではコレステロールのエステル化が促進しており、その際 lecithin: cholesterol acyltransferase の作用による lecithin からの経路よりも、acyl-CoA: cholesterol acyltransferase (ACAT) を介して血中の遊離脂肪酸がエステル化に利用される経路が主体であるとの結論を得た。また ACAT に対する基質特異性を検討した結果、パルミチン酸よりオレイン酸に特異性が高かった。この基質特異性が黄色腫病変部での顕著なオレイン酸コレステロールの蓄積をもたらす因子の 1 つであると考えた。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は黄色腫組織におけるコレステロール代謝に関する実験的研究であるが、高コレステロール血症家兔にデキストラン硫酸を用いて作製した実験的黄色腫組織におけるコレステロールのエステル化の機序に関して重要な知見を得た価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。